

各地驗潮儀記象並ニ潮候異 狀等通報蒐錄

寺田委員ノ申出モアツタノデ、次ノ様ナ照會ヲ太平洋沿岸各地方ノ長官ニ發送シ、回答ヲ煩ハシタガ、其中驗潮儀記錄ヲ有セラレル向ハ、一々其寫ヲ本會ニ寄贈セラレタ、驗潮儀記錄ハ右ノ外、陸地測量部得ラレタモノヲ大村委員カラ提出ニナリ、又内務省土木局、横須賀海軍工廠ニ於テ得ラレタモノモ一々寄贈ニ預ツタカラ、總テ此等ヲ一括シテ此ニ掲ゲルコトニシタ、尙ホ中村(左)委員ノ報告ニモ斯様ナ記象ガアリ、其中千葉釧路ノ二個處ヲ除キ他ハ重複デアツタカラ、右ノ二個ヲ同委員ノ報告カラ此場處ニ移シテアル、同委員並ニ自分ノ報告(本報告甲ノ部)ヲ閱覽サレル場合、必要ガアツタラ本蒐錄ヲ參照セラレルコトニ致シタイノデアアル。(今村幹事)

各地方長官宛照會文

震甲一四號

去ル九月一日ノ關東地震ニ伴ヒ引續キ津浪ヲ惹起シ候處右ハ遠近ノ各港灣ニモ其餘波ヲ及ボセルモノト推定セラレ候

第百號乙 各地驗潮儀記象並ニ潮候異狀等通報蒐錄

ニ就テハ調査上入用ニツキ乍御手数數左記ノ事項御取調御報告又ハ御寄贈ニ預リ度及御依頼候也

大正十二年九月三十日

(東京帝國大學理學部地震學教室內)

震災豫防調査會々長事務取扱代理

今村 明 恒

宛

宛先(北海道長官、大阪府知事、千葉、茨城、巖手、青森、静岡、徳島、高知、大分、宮崎、鹿兒島、沖繩ノ各縣知事及小笠原島司、父島測候所長、)

記

- 一、當日午後ニ於ケル潮候異狀(報告)
 - 二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀(報告)
 - 三、驗潮儀ノ設備アラバ當日ノ記象寫(寄贈)
- 以上

右ニ對スル回答

目次

- 一、鹿兒島縣(知事回答)
- 二、宮崎縣(知事回答)
- 三、大分縣(知事回答)

一一一

- 四、沖 繩 縣 (知事回答)
- 五、徳 島 縣 (知事回答)
- 六、高 知 縣 (知事回答)
- 七、小 笠 原 島 (島司回答)
- 八、父 島 (測候所長回答)
- 九、靜 岡 縣 (知事回答)
- 一〇、千 葉 縣 (知事回答)
- 一一、茨 城 縣 (知事回答)
- 一二、福 島 縣 (知事回答)
- 一三、岩 手 縣 (知事回答)
- 一四、青 森 縣 (知事回答)

鹿兒島縣

一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

九月一日午後一時ヨリ同二時頃迄ノ間管下熊毛郡北種子村現和小字庄司浦海岸一帶ニ亘リ小海嘯起リ干潮時ナリシモ之ガ爲メ恰モ満潮ノ寄セ來ル如ク數尺位陸地へ寄上ケタリ

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

本縣一帶ニ異狀ヲ認メズ

三、驗潮儀ノ記象

鹿兒島港ニ設置アル驗潮儀自記紙寫別紙ノ通り

宮 崎 縣

- 一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀
驗潮儀ニ故障ヲ來シ修理中ニテ當日ハ使用致サザルヲ以テ不明
- 二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀
自記水位機等ノ設置ナキヲ以テ異狀不明
- 三、驗潮儀ノ記象
設備ナシ

大 分 縣

名 地	當日午後ニ於ケル潮候ノ異狀	海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀
南海部郡水子燈臺	×	*
同 東中浦村	×	*
同 東上浦村	×	*
北海部郡臼杵町	×	*
大分市大分港	潮候ハ平時ヨリ約二尺餘高カリシト認ム	*
速見郡御越町	×	*
同 日出町	平時ヨリ約二尺餘高カ、リシト認ム	*
東國東郡國東町	×	*
東國東郡姫島村	×	*
同 姫島燈臺	平時ヨリ少シ高カリシト認ム	*
同 竹田津村	俗ニ「アヒキ」ト稱スル底ウネリノ潮ノ満十平時ヨリ高カリシモノ干潮時ニハ顯著ナルヲ認メズ	*
西國東郡三浦村	平常ヨリ約七寸餘高カリシト認ム	*
同 高田町	満潮時ニ於テ少シ高カ、リシト認ム	*

宇佐郡長洲町 ×
下毛郡中津町 ×

× ×

* *

備考 ×ハ潮候ノ異狀ヲ認メザルモノ及氣附カザルモノ
*ハ井水ノ異狀ヲ認メザルモノ

沖繩縣

一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

異狀ナシ

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

異狀ナシ

三、驗潮儀ノ記象

別紙ノ通り

徳島縣

一、當日午後ニ於ケル潮候異狀

徳島港外ノ浪ハ平素ヨリ約二尺高ク柱養港岡崎海岸ハ平素

ヨリ二尺高位ニ在リ又那賀郡海岸ニ於テハ二三回二尺乃至

三尺(干潮時)高クナリ忽チ引潮トナレリ

板野郡川内村鶴島方面ニ於テハ地震後潮ノ減退少シ即チ客

年九月ノ大潮時ト比較スルニ干潮水面約一尺五六寸高マリ

居タリ

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

板野郡川内村ニ於テハ堀抜井湧出量増加シタル如シ

第百號乙 各地驗潮儀記象並ニ潮候異狀等通報蒐録

那賀郡海岸附近ニ於テハ約一回二尺乃至三尺増加シ忽チ減水セリ

三、驗潮儀ノ設備アル地方ニシテ當日記象寫別紙ノ通

高知縣

一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

午後二時頃ハ何等異狀ヲ呈セズ込潮ニテ小型漁船ノ如キ出

漁セントセシガ同時刻ニ至リ俄ニ引潮ニ變ジ出漁ヲ中止シ

タル事實アリ而シテ潮候ノ異狀ハ別紙驗潮儀ノ記象ニ表ハ

レタルガ如ク午後二時頃ニ始マリ前後五回位高浪ノ襲來ア

リ潮ノ差引不正トナリテ沿岸ノ住民中避難スルモノ多カリ

シガ夜ニ入り平潮ニ復セシ趣ナリ

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

一時井水ヲ減ジ又ハ水泡ヲ湧出シタリト傳フルモ事實ニア

ラサルモノノ如ク井水ノ異狀ニ付テハ報告スベキ材料ナシ

三、驗潮儀ノ記象

本縣浦戸港内ニ設備セル驗潮儀ノ當日ニ於ケル記象別紙ノ

通り

小笠原島

一、當日ニ於ケル潮候異狀

九月一日午後三時父島二見港内ニ於テ高低三尺週期三十分

ニ互ル津浪數回襲來ス

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

其當時以後一週間ハ一般ニ高潮ニシテ井水ニ鹽分増加ノ傾向アリタリ

三、驗潮儀ノ記象寫シ

父島測候所用ノモノ破損ニ付キ不明其ノ他ニハナシ

其他ノ參考事項

一、九月一日父島、母島各列島ニテハ稍、人體ニ感ズル程ノ微震アリタリ

二、九月二日ヨリ父島二見港内ニ輕石ノ流著ヲ見タリ

三、震災ノ爲メ硫黃島漁場ニ影響有無調査ノ爲メ十月七日ヨリ九日間技手一名派遣シタルニ其復命拔萃左ノ如シ

イ、同島附近漁場ニハ影響ナシ

ロ、同島中硫黃小學校長ヨリ報告聽取スル所ニ依レバ

一、八月三十一日夕刻淋病水沖合（同島東北部）三回ノ海底噴火アリ

一、九月一日午前六時ロビンソン停止シ全ク無風狀態トナレリ

一、同日午前十一時三十分（正確ヲ期シ得ズ）三回ノ強震アリ

一、西パイプ山所々ニ龜裂ヲ生ジ「コンクリート」水タンク破損セルモノ十數個アリ

一、西パイプ山ニ幅三間長サ四間深サ六尺ニ亘ル穴ヲ發見ス（九月三十日）是レ九月一日ノ地震ニヨリ出現セルモノト推定ス

父島（測候所長回答）

一、九月一日午後三時頃ヨリ港内小津浪ノ現象アリ週期約三

十分程ヲ要シ最高水位ハ二尺以上ニ及ビ候週期割合ニ長カ

リシ爲メ終止時ハ判然致サズ（當日當地ハ無感覺ノ地震有之候ノミニ候）

二、當所ハ海岸ニ有之候へ共其別段異狀ハ認メズ候

三、驗潮儀ハ目下破損致シ休止中ニ有之候

静岡縣

（震甲一四號照會ニ對シテハ回答ヲ得ズ、被害一般狀況問合ノ回答ニヨツテ之ヲ補フ。）

一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

大震後、伊豆東岸ニ津浪ノ襲來アリ、流失家屋數熱海町一

六二、多賀村一〇、宇佐美村一一、伊東町二九四、小室

村五六、稻取町一九、濱崎村三等ニシテ死傷者多ク、下田

町ハ浸水數百戸ニ及ブ、其他道路、橋梁、堤防ノ損害夥シ

二、海岸ニ於ケル井水ノ異狀

伊豆各地温泉ニ異狀アリ、吉原井水湧出水黃褐色ニ變ズ

三、驗潮儀ノ記象

設備ナシ

銚子

一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

津浪 大正十二年九月一日午前十一時五十八分五十七秒ノ大震後約四十五分ヲ經テ銚子ノ海岸ニ設備セル當所ノ驗潮儀ハ曲尺五寸ノ上昇ヲ示シテ又直チニ八寸ノ下降ヲ示シ此一昇一降ノ時間ハ約十分ヲ算フ是此日ニ於ケル小津浪的波浪ノ最初ニシテ如斯小振動數回ノ後、最低潮位ニ達シタルハ午後一時十九分最初ノ昇頂點ヲ下ルコト一尺四寸二分潮位二尺六寸八分ニシテ止マル夫ヨリ又約九分間ニ一尺六寸二分ノ急昇ヲ來スヤ又忽チニシテ一尺一寸ノ急降ヲ呈スル等此處變化著大ニシテ最大振幅モ亦此處ニ於テ生ズ實ニ大震ノ發震時ヨリ一時三十分間ヲ經タル時ナリキ斯クテ爾後三時間許リハ振動頗ル亂雜其後ハ次第ニ鎮靜ニ歸シタルガ如クナリシモ尙全ク常態ニ復セス小津浪ハ依然トシテ繼續セリ、要スルニ當日大震後ノ數時間銚子海岸ニ於ケル波浪ノ狀況ハ十分間内外ヲ週期トセル小振動數回ヲ以テ一時間内外ヲ週期トセル大振動ヲ形成シツ、アリタルモノニシテ其最大振幅ハ一尺六寸二分ニ及ビタルモノナリ、但シ當日ノ津浪ハ南房州ノ崎ヨリ野島崎ニ至ル間ノ海岸ニ最モ著大ニシテ其被害モ亦此方面ニ多ク銚子海岸ニテハ別段人ノ注

意ヲ惹ク程ノモノニテハアラザリシナリ。

潮候 大震當日午後ノ干潮最低時ハ一時十九分ニシテ月齡ニ依ル前年ノ同時ヨリ約一時間晚シ、又午後ノ滿潮ハ六時四十五分ニシテ月齡ニ依ル前年ノ同時ト殆ンド相等シ、而シテ前者ノ潮位ハ二尺六寸八分ニシテ前年ヨリ三寸三分高ク後者ノ潮位ハ六尺ニシテ是亦前年ヨリ一尺四寸八分高シ、抑銚子海岸ニ於ケル本年ノ潮位ハ之ヲ前年ニ比較シテ一月以來漸次增高ノ傾向ヲ示シ五、六、七ノ三ヶ月ニアリテハ平均六寸八分餘モ高ク八月ニ至テ平均八寸ノ高キヲ示シ大震前ハ約一尺内外ノ高キニ及ビタリシが大震後ノ數時間ハ津浪ノ爲メ潮位正シカラズ其翌朝ハ前日ヨリ二三寸方低クカリシガ如キモ而モ尙前年ニ比スレバ一尺内外ハ高ク其後モ依然トシテ前年ヨリ一尺内外ノ高キヲ示シ居レルガ其原因果シテ如何、氣象ニアルカ潮流ニアルカ將タ地盤ノ異變ニアルカ尙充分ナル調査ヲ遂ゲタル上ニ於テ更、報告スル所アルベシ。

二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

銚子附近ニ於テハ別段異狀ヲ呈セザルモノト認メラル

三、驗潮儀ノ記象

別紙ノ通り

(大正十二年十月十八日記ス 銚子測候所)

茨城縣

- 一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀
異狀ナシ

- 二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

異狀ナシ

- 三、驗潮儀ノ記象

別紙ノ通り

福島縣

小名濱

- 一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

別紙驗潮儀記象ノ通り潮位稍高キヲ認ム

- 二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

別ニ異狀ヲ認メス

- 三、驗潮儀ノ記象

別紙ノ通り

岩手縣

- 一、九月一日午後ニ於ケル潮候ニハ異狀ナシ

- 二、海岸附近ニ於ケル井戸何等ノ異狀ヲ認メズ

- 三、驗潮儀ノ觀測ナシ

青森縣

鯨港

- 一、九月一日午後ニ於ケル潮候異狀

鯨漁港ニ於ケル驗潮儀ニハ當日午後三時頃異狀潮候ノ記錄ヲ認メラレ候得共村民及漁夫等ニハ何等ノ異狀ヲ認メザリシ趣ニ付此段及回答候也

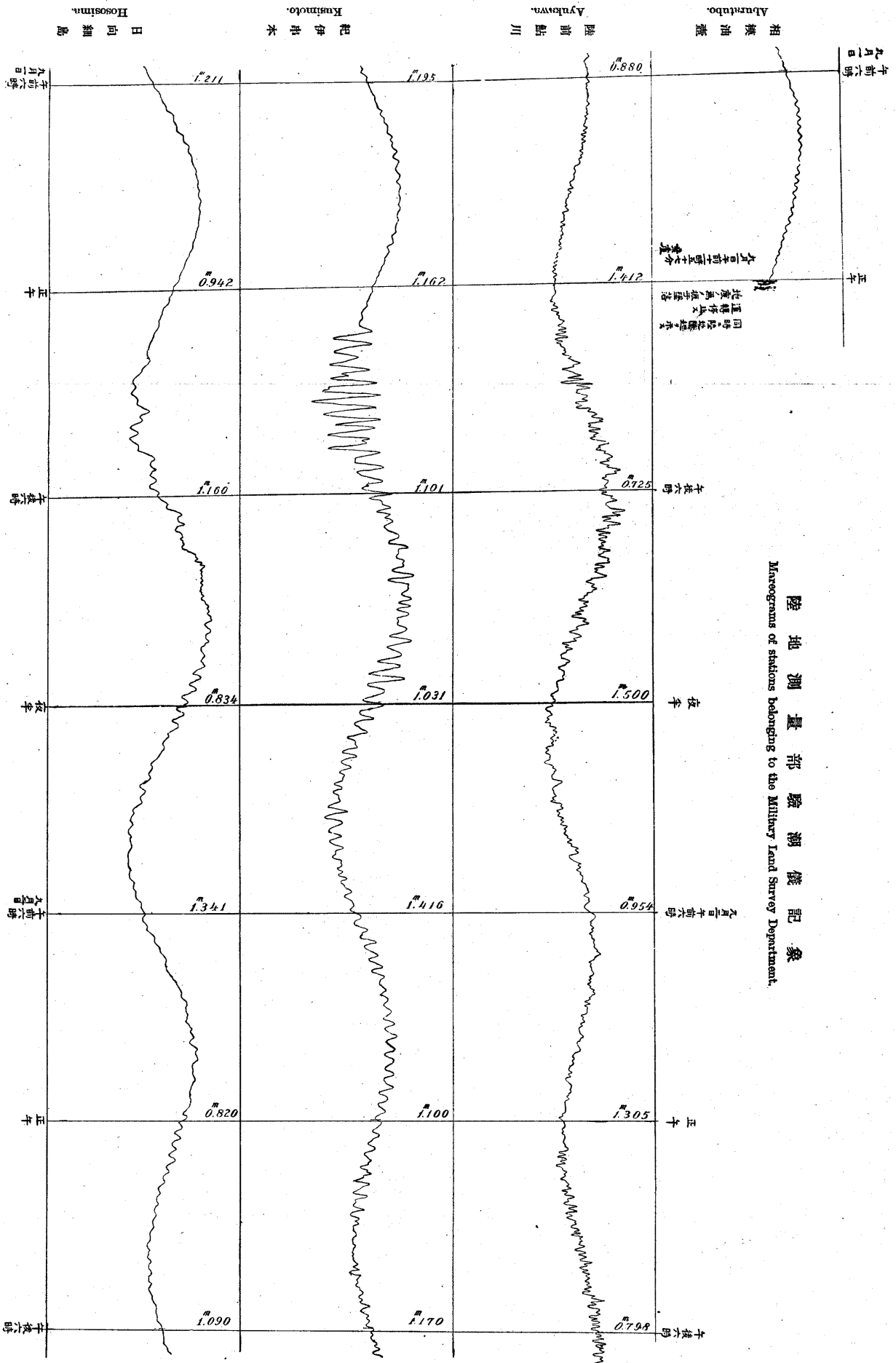
- 二、海岸附近ニ於ケル井水ノ異狀

記事ナシ

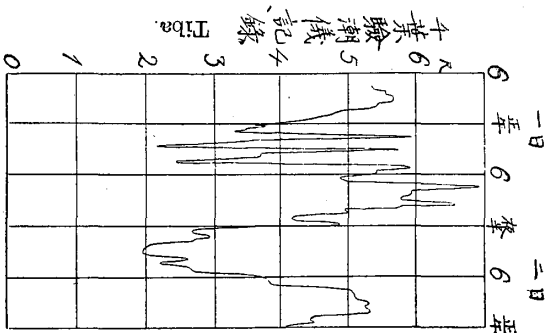
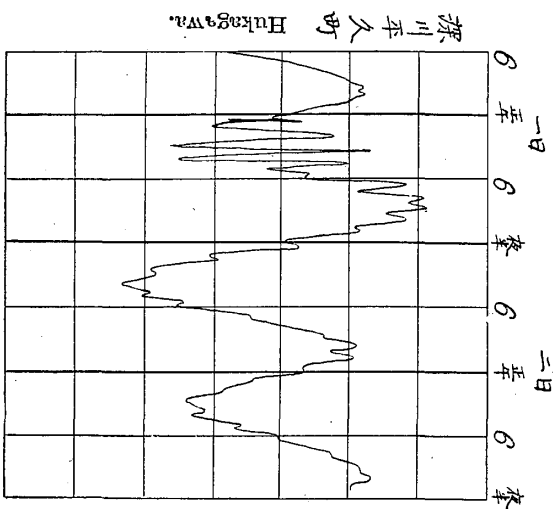
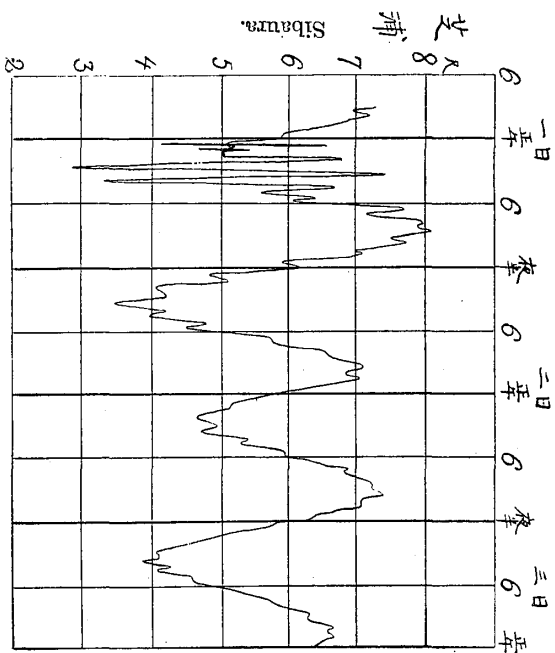
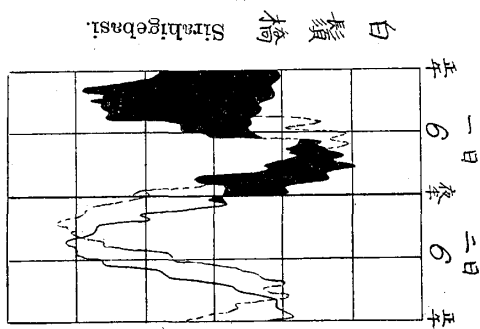
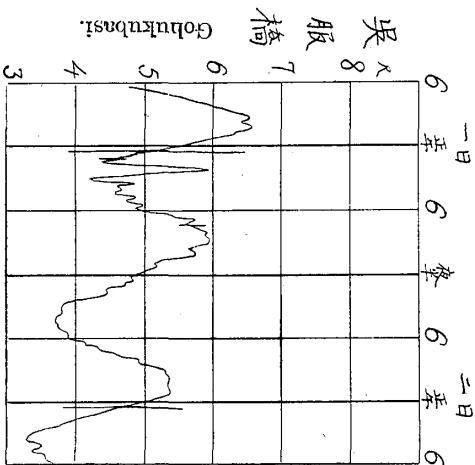
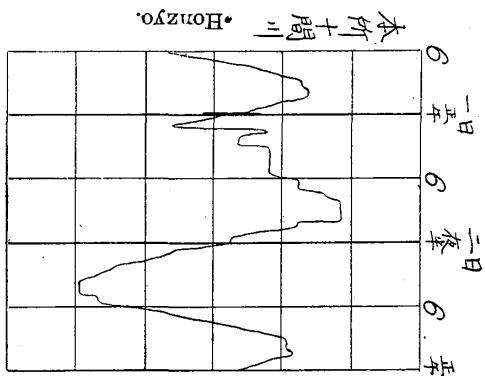
- 三、驗潮儀ノ記象

別紙ノ通り

陸地測量部驗潮儀記象
 Mareograms of stations belonging to the Military Land Survey Department.

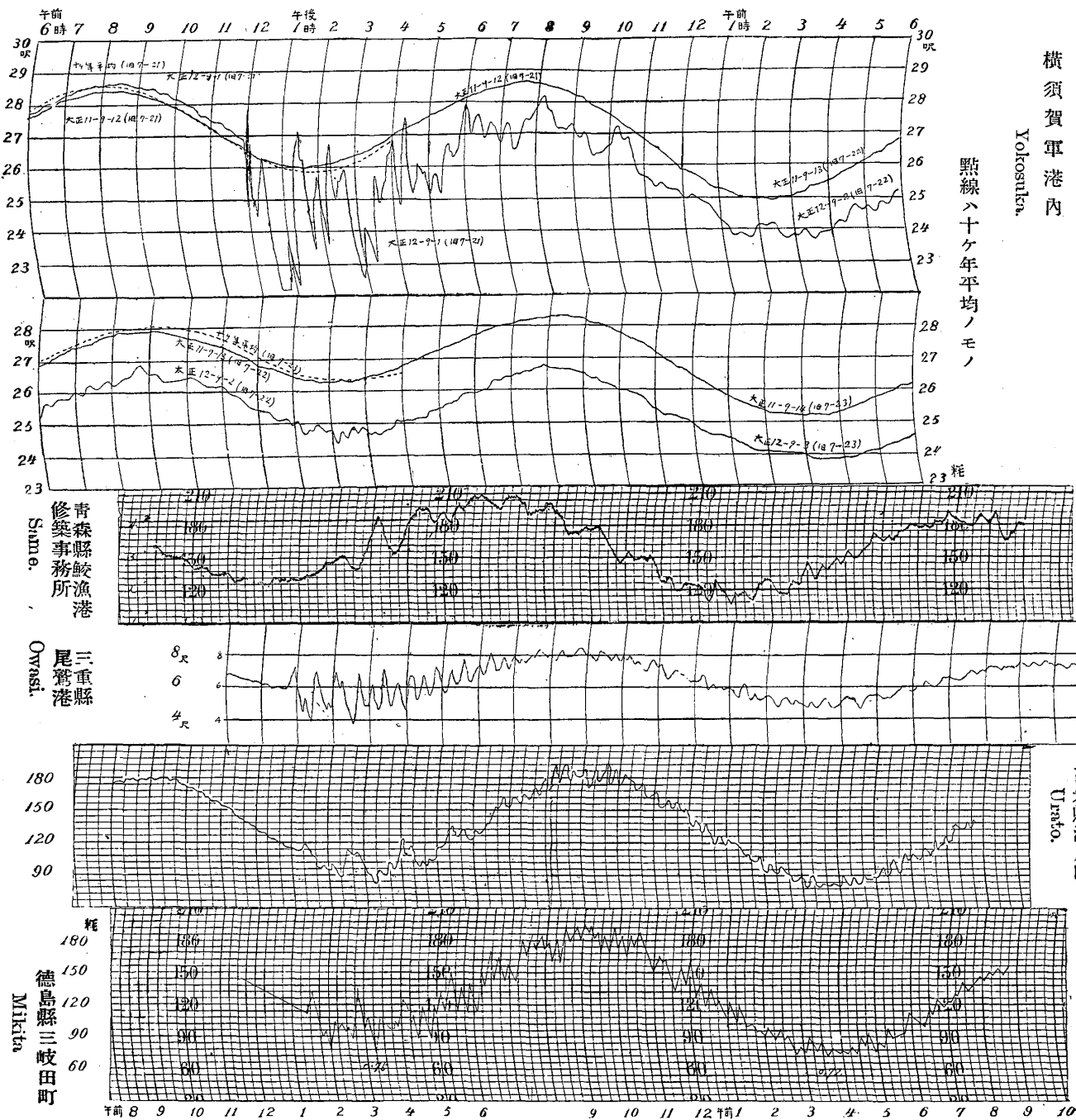


東京灣北部ニ於ケル驗潮儀記象
 Mareograms of stations in the N. const of Tokyo Bay.



横須賀并=太平洋沿岸各地驗潮儀記象

Maregrams of stations in Yokosuka and other ports.



横須賀軍港内

Yokosuka.

點線ハ十年平均ノモノ

高知縣浦戸町

Utsuho.

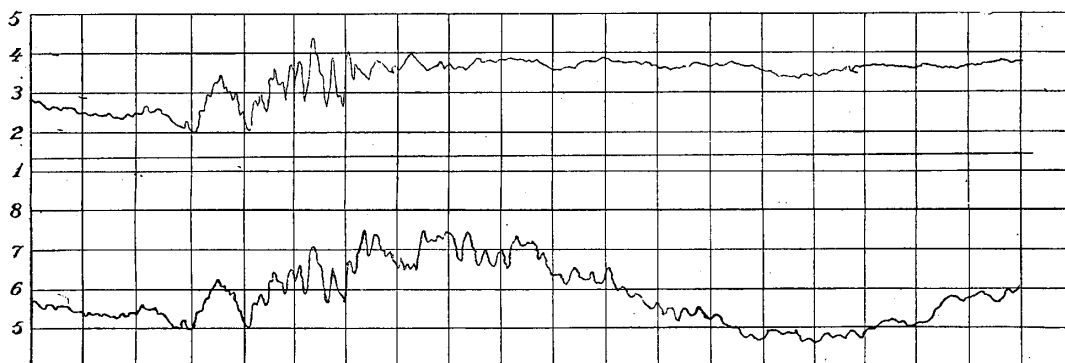
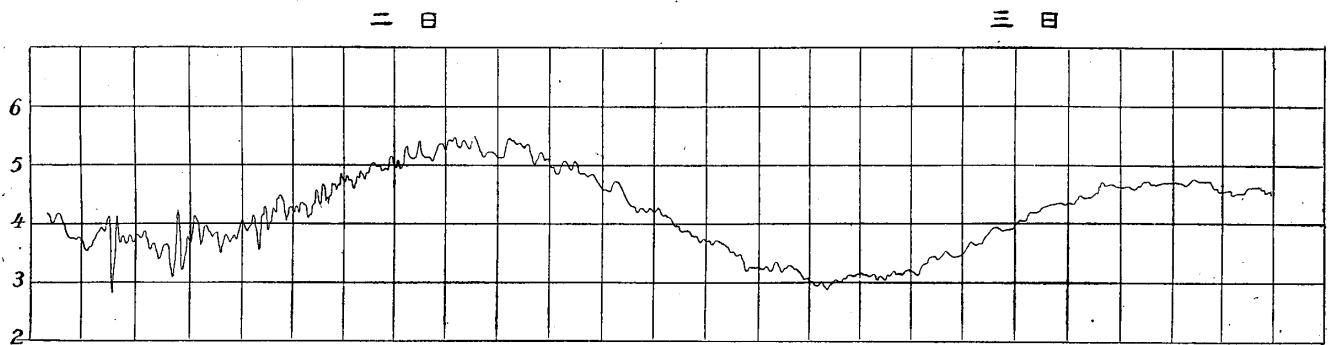
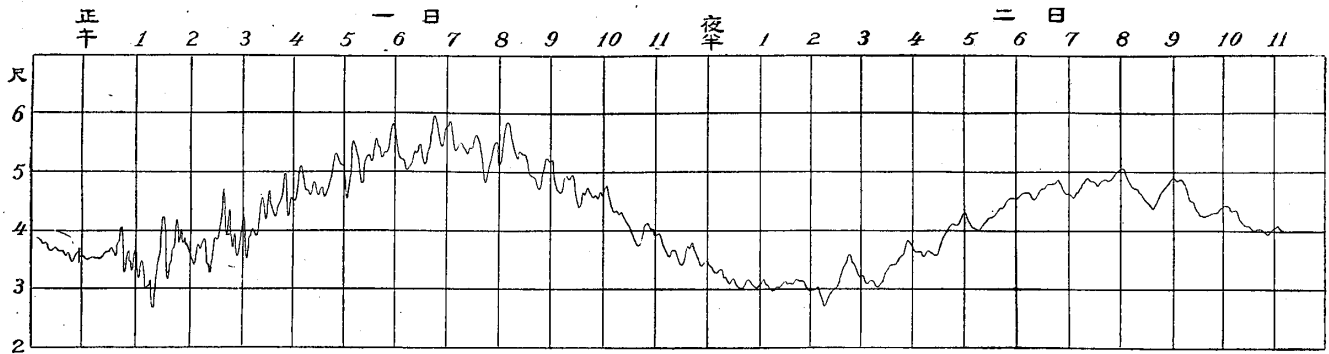
Same.

Mikita.

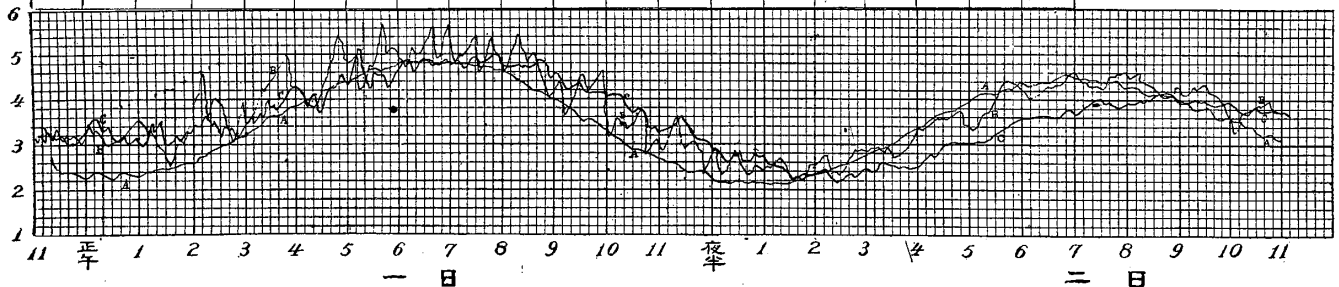
房總常磐方面驗潮儀記象

Mareograms of stations to N. of the seismic origin.

銚子 Tyosi.



茨城縣磯濱町
大字祝町地先
Isahaya.
茨城縣那珂郡
港町字小川地先
Minatomari.

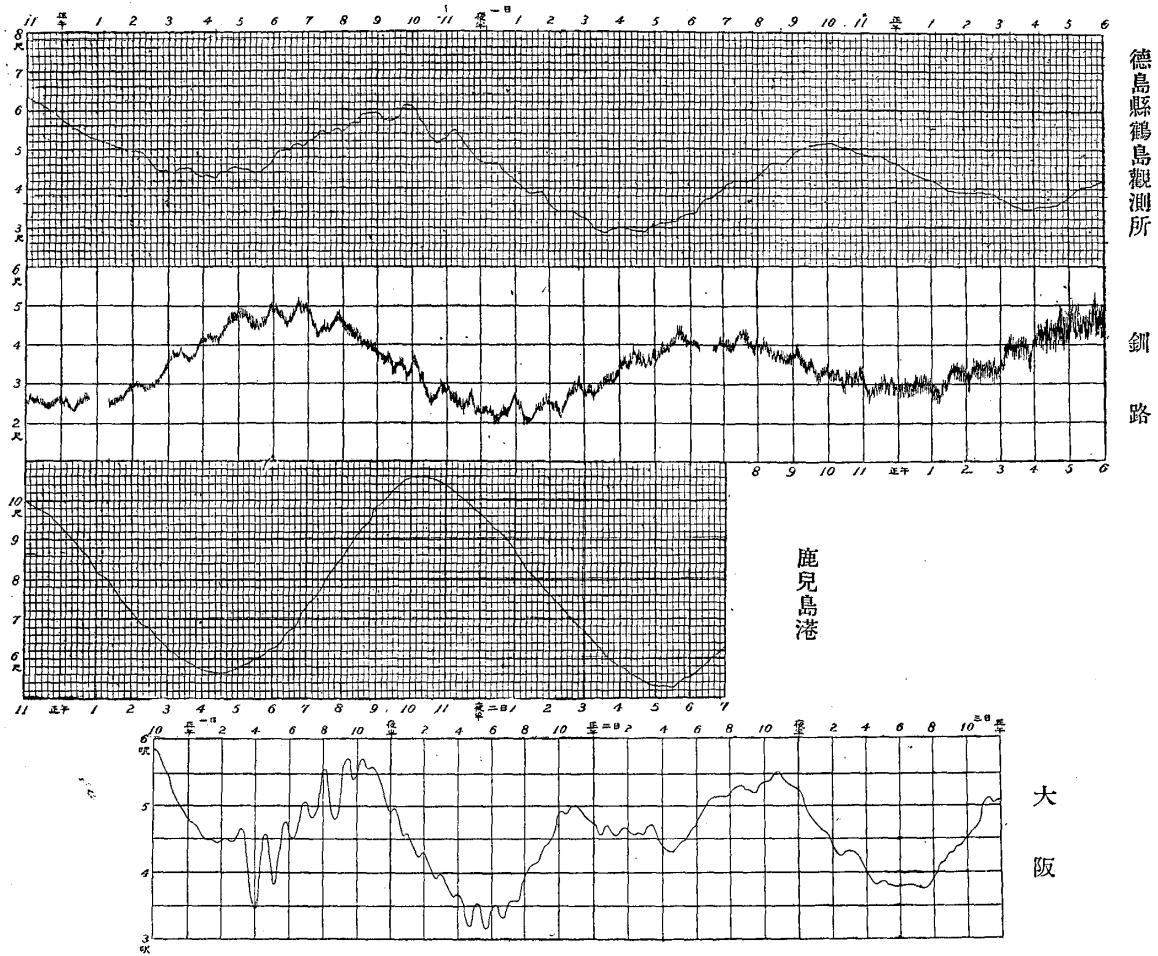


福島縣小名濱 Onahama.

- A...八月三十一日午前十一時カラ九月一日午前十一時マデ
- B...九月一日午前十一時カラ二日午前十一時マデ
- C...九月二日午前十一時カラ三日午前十一時マデ

遠地ニ於ケル驗潮儀記象

Mareograms of distant stations.



(1) Turusima, (2) Kusiro, (3) Kagosima, (4) Osaka.